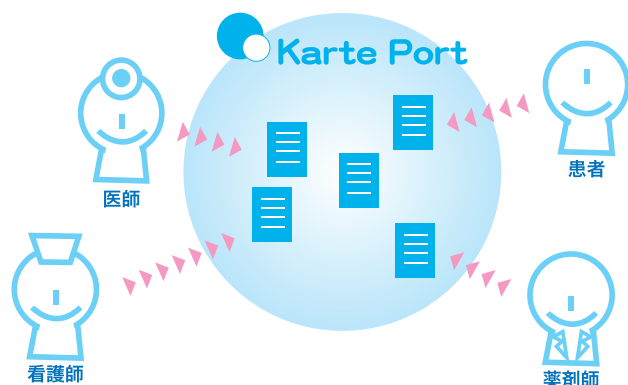


カルテポートとは

地域医療に携わる人々が利用する医療情報管理システム



カルテポートとは、患者の医療情報(カルテ・検査データ・アドなど)を管理するデータベースシステムです。

医療従事者と患者の双方が利用し、地域医療システム内の全ての病院・患者の自宅からアクセスできます。医療従事者は患者の許可のもとその情報を引き出す事ができます。

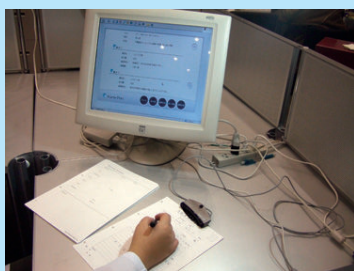
カルテポートを用いた診察

診察前



医師は患者と対面する前に予約時に送られてきた問診内容や患者の過去のカルテなどを閲覧できます。これにより医師は診察前に患者を知る事ができ、病状にある程度の予測をした上で診察に望めます。

診察開始



患者が診察に訪れると、医師は事前情報をもとに詳しい話を聞き、カルテを作成します。キーボード入力が苦手な医師でも電子ペンによる手書き入力を用いることでカルテポートを簡単に利用する事ができます。

診察終了



カルテを登録すると、それをもとに自動的に指示書が作成されます。医師は診断内容や今後の療養などについて患者に話をし、最後に指示書を渡して診察が終了します。